

## 令和3年度 中堅教諭等資質向上研修・6年目研修受講者調査結果

4段階評価（青:できた 赤:ややできた 黄:あまりできなかった 緑:できなかった）

目標値

重点項目	具体的な姿	令和3年度結果	
I 自己有用感の育成	1 児童生徒が豊かなかかわりの中で自分や周りの人のよさに気づくような手だてを講じた	中堅教諭資質向上研修受講者	14 79 7
		充実期前半	22 71 7
		6年目研修受講者	11 78 11
		向上期	23 69 7 1
	2 スクリーニングやアセス、QU等の諸検査結果を支援に活かした	中堅教諭資質向上研修受講者	43 43 14
		充実期前半	37 51 9 3
		6年目研修受講者	33 48 19
		向上期	25 60 15 1

- ・ I-1をみると、同じキャリアステージ内で比較した際に、研修後の者の方が研修受講者より肯定的評価が高い傾向にある。向上期、充実期ともに研修を経て校内での取組みに活かしてきていると思われる。
- ・ 80%の目標値に対して、「できた」の割合が小さい。取組みは行っている、児童生徒の明確な変容が感じられないことが結果の背景にあると推測される。
- ・ スクリーニングやQUに関しては、同じキャリアステージ内で比較して、受講者の方が「できた」の割合が高い。中堅教諭等資質向上研修①・6年目研修①で島根県立大学山田洋平准教授の講義の中でアセスについても触れていただいたことが結果に表れていると推測される。またこのキャリアステージの者は生徒指導や教科指導の中心となっているものが多く、活用の機会が多いと思われる。

重点項目	具体的な姿	令和3年度結果	
II 学力向上	1 学習意欲を高めるために、前時の振り返りから児童生徒と共に具体的なめあてづくりを行った	中堅教諭資質向上研修受講者	21 36 43
		充実期前半	21 53 26
		6年目研修受講者	11 70 19
		向上期	12 67 19 2

II 学力向上	2 学習内容の定着を図るための時間を、毎時間設定していた																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>グループ</th> <th>できる</th> <th>できるかもしれない</th> <th>できない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中堅教諭等資質向上研修受講者</td> <td>36</td> <td>43</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>充実期前半</td> <td>27</td> <td>57</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>6年目研修受講者</td> <td>30</td> <td>63</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>向上期</td> <td>23</td> <td>61</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	グループ	できる	できるかもしれない	できない	中堅教諭等資質向上研修受講者	36	43	21	充実期前半	27	57	16	6年目研修受講者	30	63	7	向上期	23
グループ	できる	できるかもしれない	できない																	
中堅教諭等資質向上研修受講者	36	43	21																	
充実期前半	27	57	16																	
6年目研修受講者	30	63	7																	
向上期	23	61	15																	

- ・ 受講の有無ではなく、キャリアステージで割合の差が見られる。「できる」でみると、充実期前半の方が、肯定的な回答群でみると向上期の方が、割合が高い。充実期前半の者は研究主任やプロジェクトリーダー等校内の研究を構築していく者が多い。向上期の者は、校内や研究組織から授業実践者として活躍している者が多い。そのような傾向が、この結果につながっていると推測される。
- ・ 同じキャリアステージ内で比較した際に、研修受講者の方が、肯定的評価が高い傾向にある。中堅教諭等資質向上研修受講者は、中堅教諭等資質向上研修②で放送大学中川一史教授のICTを活用した学習についての講義がヒントとなり、この結果につながったと思われる。

重点項目	具体的な姿	令和3年度結果
II ICT活用	3 ICTを活用する授業が行えるように研修(校内も含む)を受けた	
	4 児童生徒が1日に1回以上ICTを活用している授業を行った	

- ・ こちらの結果はR3目標値に近い結果となった。向上期、充実期前半の者は各校においてGIGAスクール構想推進の一翼を担っている者が多く、自らの課題として受講が進んだと思われる。
- ・ 同じキャリアステージ内で比較した際に、研修受講者の方が、肯定的評価が高い傾向にある。中堅教諭等資質向上研修②や、向上期・充実期前半の受講者が多かったICTを活用した授業づくり研修等による結果と思われる。しかし一方で「できなかった」という者も多く、今後も活用のイメージが持てる研修を企画する必要がある。

重点項目	具体的な姿	令和3年度結果																				
Ⅲ Myアイデアの活用	1 Myアイデアシートの案を数人で話し合った	<table border="1"> <tr> <td>中堅教諭等資質向上研修受講者</td> <td>7</td> <td>43</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充実期前半</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>58</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>6年目研修受講者</td> <td></td> <td>19</td> <td>56</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>向上期</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>57</td> <td>25</td> </tr> </table>	中堅教諭等資質向上研修受講者	7	43	50		充実期前半	4	18	58	20	6年目研修受講者		19	56	26	向上期	3	15	57	25
	中堅教諭等資質向上研修受講者	7	43	50																		
	充実期前半	4	18	58	20																	
	6年目研修受講者		19	56	26																	
向上期	3	15	57	25																		
3 Myアイデアシートを使ってプロジェクトチーム・学年会・職員会議等に提案した	<table border="1"> <tr> <td>中堅教諭等資質向上研修受講者</td> <td>7</td> <td>36</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>充実期前半</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>45</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>6年目研修受講者</td> <td>4</td> <td></td> <td>56</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>向上期</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>45</td> <td>41</td> </tr> </table>	中堅教諭等資質向上研修受講者	7	36	57		充実期前半	4	14	45	38	6年目研修受講者	4		56	41	向上期	2	12	45	41	
中堅教諭等資質向上研修受講者	7	36	57																			
充実期前半	4	14	45	38																		
6年目研修受講者	4		56	41																		
向上期	2	12	45	41																		
※1・3は研修受講者のみ回答 5・6は中堅教諭等資質向上研修・6年目研修受講者のみ回答	5 学校力アップにつながる案を管理職に提案した	<table border="1"> <tr> <td>中堅教諭等資質向上研修受講者</td> <td>8</td> <td>23</td> <td>54</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>6年目研修受講者</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>37</td> <td>44</td> </tr> </table>	中堅教諭等資質向上研修受講者	8	23	54	15	6年目研修受講者	4	15	37	44										
中堅教諭等資質向上研修受講者	8	23	54	15																		
6年目研修受講者	4	15	37	44																		
	6 学校力アップにつながる案を職員会議に提案した	<table border="1"> <tr> <td>中堅教諭等資質向上研修受講者</td> <td>8</td> <td>23</td> <td>38</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>6年目研修受講者</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>33</td> <td>48</td> </tr> </table>	中堅教諭等資質向上研修受講者	8	23	38	31	6年目研修受講者	4	15	33	48										
中堅教諭等資質向上研修受講者	8	23	38	31																		
6年目研修受講者	4	15	33	48																		

- Ⅲ-1は、結果としてR3目標値に大きく及ばなかった。中堅教諭等資質向上研修受講者の肯定的な回答群が高く、「できなかった」の割合が0%なのは、校外研修が6回あり、チャンスが多かったことが予想される。
- Ⅲ-3の結果もR3目標値に大きく及ばなかった。充実期前半の者においては、受講の有無で結果に大きな差があった。向上期の者については、4割以上「できなかった」と回答しており、改善の必要を強く感じる。
- 中堅教諭等資質向上研修・6年目研修受講者においては、学校力強化に向けた取組みを推進していく役割を期待し、校外研修等を行っている。しかし、Ⅲ-5・6いずれもR3目標値には大きく及ばなかった。このことから、学んだことや自らの知見から、学校の教育活動推進に向け、管理職への提案や職員会議での提案がなかなかできておらず、校内の学校力アップにつながる取組みが十分できていないと思われる。
- Ⅲ-5・6のアンケート結果から、6年目経験者研修受講者と比較して、中堅教諭等資質向上研修受講者の方が結果がよい。これは校外研修の回数が多く、提案するチャンスが多かったためではないかと思われる。

これらの結果から、来年度に向けて受講者の実態を把握し、受講者が学校力アップに向けた取組みにいかにさせるための道筋を、学校へ提案できるようにしていく。